

大阪市の公立保育所・幼稚園における民営化計画の白紙撤回を求める陳情書

大阪市の保育を充実させる会

大阪市中央区谷町7-2-2-202 会長 福光 徹

<陳情趣旨>

大阪市は市政改革プランに基づき、公立保育所新再編整備計画・市立幼稚園民営化計画を発表しました。

大阪市の民営化計画の主な理由は公立保育所も幼稚園も「児童一人あたりの保育にかかる経費が民間園に比べて高い」ということです。保育所や幼稚園の予算の多くは人件費です。保育所の場合、公立保育所は賃金や労働条件が安定していることで保育士が働き続けられる条件が確立されていますが、民間保育園では限られた補助金の中で保育士の賃金や労働条件の改善が進まず、保育士が働き続けられないという状況が起こっています。国も保育士不足の理由が保育士の低い賃金にあるとして、民間給与改善のための予算を増額しました。民間保育園での保育士の賃金引上げや労働条件改善こそ必要であって、公立保育所の民間移管の理由にはなりません。幼稚園でも同じ状況があり、保育所・幼稚園への経費削減は子どもたちへの保育・教育の低下につながることは明白です。

公立保育所・幼稚園は地域の要求によって「市が責任を持つ施設」として設立されてきました。公立の保育所・幼稚園があることで行政水準となり、自治体として保育、教育の水準も守られてきたのです。例えば、セーフティネットとして何箇所か公立で残したとしても民営化を進めていくことは、自治体が就学前の子どもたちから責任を放棄しようとする方針に変わりはありません。

子どもたちの健やかな育ちを保障するための財源は最優先すべきで、子どもを犠牲にして経費削減をしても決して豊かな大阪市になりません。私たちは公立保育所・幼稚園の民営化計画の白紙撤回を求め、就学前の子どもたちに豊かな保育保障をすることを求めます。

<陳情項目>

- 1. 公立保育所民間移管計画・公立幼稚園民営化計画の「白紙撤回」をしてください。

氏名	住所